

令和8年度 アオコ情報（河川 No. 7）

7月14日に実施した調査の結果についてお知らせします。

- フィコシアニン濃度※¹の最大値は、新川でアオコレベル3相当※²、備前川でアオコレベル2相当、土浦沖合でアオコレベル1相当でした。

新川、備前川及び土浦沖合のアオコレベル

<新川>

- ・ 神天橋及び新川河口沖でアオコレベル3相当（フィコシアニン濃度：1041～1322 µg/L）、新港橋でアオコレベル2相当（フィコシアニン濃度：487 µg/L）でした。

<備前川>

- ・ 竹中橋でアオコレベル2相当（フィコシアニン濃度：728 µg/L）、備前川河口沖でアオコレベル1相当（フィコシアニン濃度：135 µg/L）、岩田橋でアオコレベル0相当（フィコシアニン濃度：< 5 µg/L）でした。

<土浦沖合>

- ・ 土浦沖合①及び土浦沖合②でアオコレベル1相当（フィコシアニン濃度：117～143 µg/L）でした。

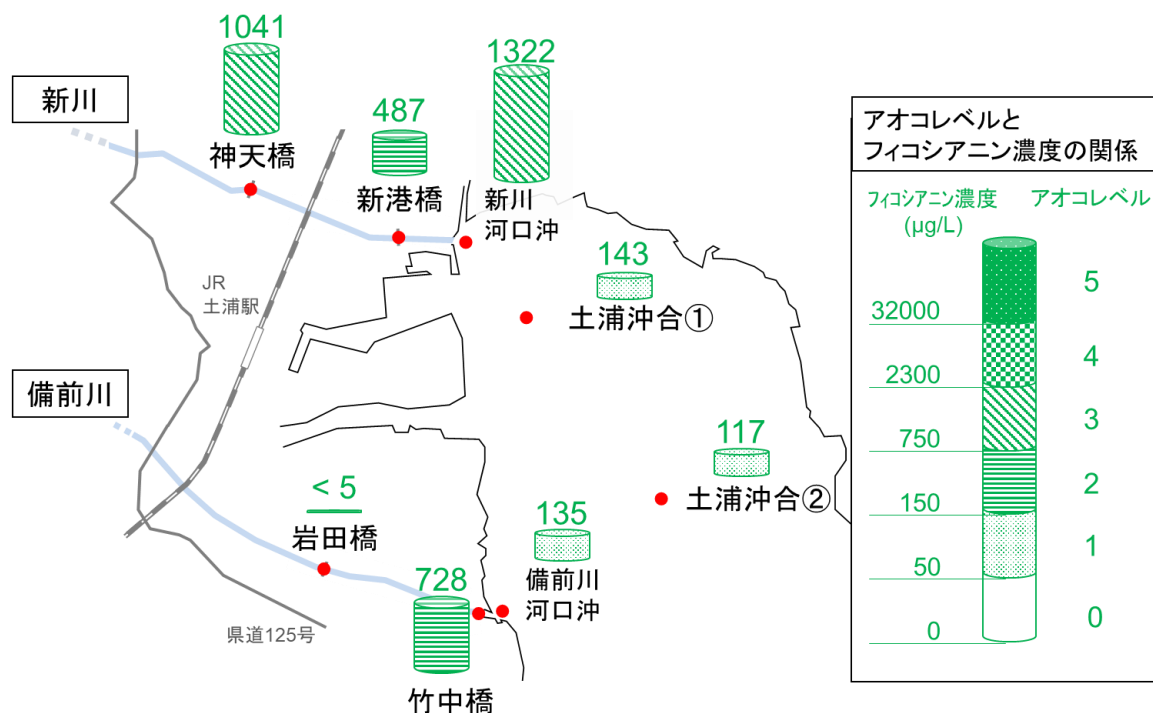


図1 フィコシアニン濃度の分布

※1 フィコシアニン

アオコの原因となる植物プランクトン（藍藻類）に含まれている色素です。フィコシアニン濃度はアオコの現存量と一定の相関があるため、アオコ現存量の目安になると考えられています。

※2 アオコレベル

アオコの発生状況を視覚的に把握するための指標です（参考：国土交通省霞ヶ浦河川事務所 HP: <http://www.ktr.mlit.go.jp/kasumi/kasumi00313.html>）。フィコシアニン濃度は、アオコレベル1で50 µg/L程度、アオコレベル2で150 µg/L程度、アオコレベル3で750 µg/L程度、アオコレベル4で2300 µg/L程度、アオコレベル5で32000 µg/L程度です（小日向ら、2012）。各レベルの写真は、別紙に掲載しています。

● 調査結果の詳細

表 調査結果

	新 川			備前川			土浦沖合	
	神天橋	新港橋	河口沖	岩田橋	竹中橋	河口沖	①	②
採水時刻	7月14日	7月14日	7月14日	7月14日	7月14日	7月14日	7月14日	7月14日
	10:45	10:20	9:55	11:08	11:18	9:24	9:48	9:38
水温 (°C)	28.7	29.6	30.3	29.7	29.4	28.3	30.0	29.0
pH	8.8	9.0	8.3	8.5	8.4	7.9	8.4	8.6
EC (mS/m)	36.7	36.4	31.7	32.4	30.9	30.3	31.3	30.2
透視度 (cm)	26	32	34	22	22	26	34	> 50
フィコシアニン (μg/L)	1041	487	1322	< 5	728	135	143	117
クロロフィル a (μg/L)	414	186	316	11	166	47	59	35

● (参考) アオコレベル (https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000042117.pdf)

